

いわき農林ニュース

(ふくしま食と農の絆づくり運動ニュース)



発行 平成22年4月20日



「いわき地方環境と共生する農業推進会議」を開催

3月2日(火)、県いわき合同庁舎において、いわき市や農協など関係機関が出席し、「いわき地方環境と共生する農業推進会議」を開催しました。

エコファーマーや有機農業、特別栽培など、環境と共生する農業生産技術の推進実績や問題点などを検討し、次年度の目標に向けた活動方針について協議しました。



(いわき地方環境と共生する農業推進会議)

その他、いわき地域の畜産堆肥や木材チップなどのバイオマス資源の利用及び農業用使用

済プラスチックの適正処理について報告があり、農業生産における環境保全という幅広い視点で検討を行いました。

平成22年度は、現場担当者による「環境と共生する農業推進チーム(仮称)」を設置して、さらにいわき地方の「環境と共生する農業」を推進していくこととしています。



「米粉商品試作発表会」が開催されました。

3月19日(金)、市内平谷川瀬のグリーンプラザいわきにおいて、米粉の普及と消費拡大を目的とした「平成21年度米粉商品試作発表会」が開催されました。

この発表会は、「いわき市米粉普及推進会議」の主催により、米粉を使った料理

の試作品を一般から募集し、「ゴロゴロ野菜のミートグラタン」、「ガーリックパン」、「パウンドケーキ」、「ロールケーキ」など18点が出品されました。



(米粉試作品展示状況)

試食会では、公募した市民40名がを試食し、材料、見栄え、味などについて、意見や感想を記入しながら審査を行いました。



(米粉試作品試食状況)

また、野菜ソムリエで栄養士の木下麻美さんが講評を行い、参加者は米粉料理について一層理解を深めている様子でした。

推進会議では、試食会の意見を参考としてさらに米粉の普及拡大を目指すとともに、平成22年度は農商工連携による県産米粉の円滑な流通ルートの構築や、体制の整備を図っていくこととしています。



「いわきゴールドしいたけ」ふれあいまつりが開催されました。

3月19日(金)、市内常磐藤原町のスパ

リゾートハワイアンズにおいて、関係者約170名が参加し、農事組合法人いわき菌床椎茸組合主催の「いわきゴールドしいたけ」ふれあいまつりが開催されました。

当日は、同組合が平成21年度森林・林業・木材産業づくり交付金を活用し、市内渡辺町に



(壇上でのしいたけ記念収穫)

整備した菌床しいたけ生産施設完成の祝賀と、同施設で生産されたしいたけを使った料理の試食が行われました。

菌床しいたけ生産施設は、平成21年11月末に竣工し、ここで生産されたしいたけは「いわきゴールドしいたけ」の名称で、新たな地域の特産品として出荷されています。

ふれあいまつりでは、このしいたけを使った、「しいたけのグリル」、「しいたけ丼」などを試食し、出席者からは、「肉厚で、しっかりとした歯ごたえが大変美味しい」などと好評でした。

食の安全・安心は、県民生活に直結することから、清潔な施設で生産されるいわき産しいたけの需要は、さらに高まるものと期待されています。

また、同組合では、生産開始時に22名を新規雇用したほか、4月からは新規高卒者19



名を雇用するな (しいたけのグリル調理)

ど、生しいたけの生産による雇用確保などの地域振興にも貢献しています。

同組合の「いわきゴールドしいたけ」にかける思いは大変熱く、いわき地域を始め県内や全国での消費拡大が大いに期待

されています。

みなさんも、是非一度、「いわきゴールドしいたけ」をご賞味してはいかがでしょうか。



「福島県グリーン・フォレスター」認定証交付式を実施

3月26日(金)、県いわき合同庁舎において福島県グリーン・フォレスター認定証交付式を行いました。

グリーン・フォレスターとは、森林づくり活動や森林環境教育活動を通して、森林・林業の重要性を伝えるボランティアの指導者で、森林整備に関する技術や安全対策に関する講座を受講後、一定期間の実務経験を積み、その後レポートによる認定試験を経て、県独自に認定しているものです。

平成15年から認定が開始され、平成20年度までに県全体で計84名が認定を受けています。

平成21年度は新たに7名が認定を受けて、合計91名となっています。

いわき地域では平成21年度認定3名と、



既に認定済みの18名 (グリーン・フォレスター認定を受けた荒川氏(中央左)、金子氏(中央右))

を合わせ、

21名が認定を受けています。

交付式当日は、2名の方が出席し、いわき農林事務所長から認定書のほかヘルメット等の装備品一式が手渡されました。

交付終了後、新グリーン・フォレスターから、「森林づくり活動や森林環境教育活動への指導を通して、次代を担う子供達に森林の働きや大切さを伝えていきたい」との決意が述べられました。



「いわき地方防霜対策会議」を開催

3月29日（月）、県いわき合同庁舎において「平成22年度いわき地方防霜対策会議」を開催しました。

今年の冬は寒暖の差が激しかったものの、暖冬傾向であったため、果樹を中心とする作物の生育が早まっており、万全な体制を整えるため、昨年度よりも時期を前倒して対策会議を開催しました。



（いわき地方防霜対策会議）

会議では、降霜に関する情報の伝達方法や被害発生時の状況

把握、各作物の防霜対策技術などについて協議し、防霜対策に係る関係機関の役割を確認しました。

また、仙台管区気象台の3ヶ月予報によると、今後の天候は、4、5月とも気温の変動が大きくなる見込みであり、低温や降霜による凍霜害を受ける危険性が高いと推定されるため、例年以上に生産者に対する情報の周知徹底を図り、被害の未然防止と軽減策、被害を最小限に抑える必要性等について検討を行いました。

なお、いわき地方防霜対策本部（本部長：高梨いわき農林事務所長）は、「農作物の凍霜害を未然に防止し、農業経営の安定を図ること」を目的に、5月31日までの2カ月間設置することとしています。

会議終了後、県いわき農林事務所に「いわき地方防霜対策本部」の看板を設置し、職員は、農作物の防霜対策について万全を期すため、あらためて気を引き締めていました。

いわき農林事務所からのお知らせ

- ◎ 平成22年度田んぼの学校開校式
期日：4月22日（木） 10:15～ 会場：いわき市立夏井小学校
- ◎ 「株式会社 平木材市場 創立52周年記念市」
期日：4月23日（金） 11:30～ 会場：平木材市場
- ◎ 「緑の募金」街頭募金
期日：4月29日（木） 10:00～ 会場：いわきららミュウ
- ◎ 農業ふれあい講座（開講式）
期日：4月中・下旬 時間未定 会場：いわき市夏井地区 現地ほ場
- ◎ 土地利用型作物担当者会議
期日：4月または5月 時間未定 会場：県いわき合同庁舎

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6197 Fax (0246)24-6196

URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail iwaki.nourin@pref.fukushima.jp



iwaki.nourin@pref.fukushima.jp